円香…
挿入れるよ…

痛くないんだよな…？

アッ♡

ゴリッ♡

ずにゃうぅぅ～～

ああっ…
円香…
全部挿入った…

すごいよ…

ずっ…

あぁっ
あっ あっ…
こっ こんなの
平気……!!

初めてこの人に
抱かれてから
数ヶ月経った

ほ♡
おっ♡おっ♡
おぉ～♡

おっ♡
おっ♡
ほ♡
お♡

あんなに苦労した
この人のモノも
今ではすっかり
咥え込める
ようになった

んおぉ♡

というより
この人に
私のカタチを
変えられて
しまった―

大きすぎる
モノのせいで
性経験が少なく
実質的に童貞
だった彼―

ぐっ…円香…
射精るっ…!!

びゅーっ
びゅるるる
びゅるるる

完璧な彼が
唯一見せた
心の隙

それを逃す
私では
なかった

彼は
自慰を覚えたての
中学生のように
毎晩私を求めた

ぞくぅ…

この男が
私だけに
そんな姿を
見せるのが
心地良かった

おなか…灼けげる♡

バチッ
バチッ

貫かれる痛みも
やがては優越感と
深い絶頂に変わった

あ…♡

あぁっ…!!
熱つい…!!
円香……!!

溶けてしまいそうだっ……!!

すぐ射精しちゃう…

そんな彼が初めて
上手くいった
セックスに
のめり込むのに
時間はかからなかった



